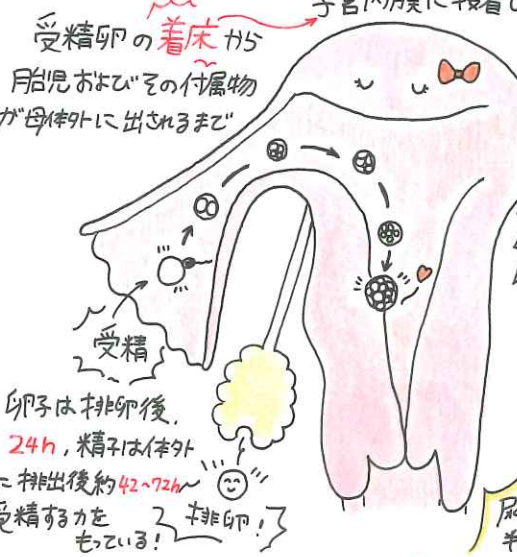


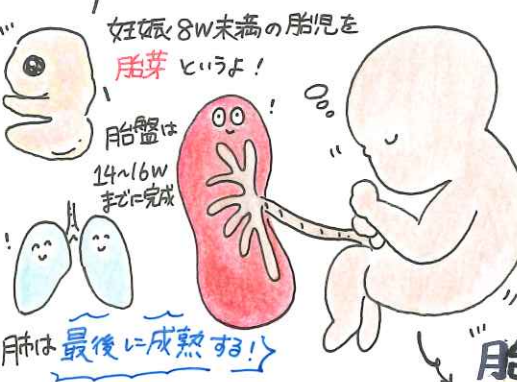
# 妊娠の成立!

受精は卵管膨大部で起り、胚盤胞(胎胚)の状態  
子宮内膜に接着し、埋没する!(着床) → 受精後6~7日頃から開始!



卵子は排卵後、24h、精子は体外に排出後約42~72hに受精する力をもっている!

妊娠が成立すると、黄体は**妊娠黄体**となる!  
胎盤がhCGというホルモンを産生し、黄体を変化させ、**エストロゲン・プロゲステロン**を産生させ、妊娠の維持を担っている!  
妊娠7w頃になると、**エストロゲン・プロゲステロン**の産生場所は**胎盤**に!



**胎児の呼吸様運動**  
16w頃から! 34wには肺胞内に十分な**肺サーファクタント**が分泌されて、肺の機能力が完成する!  
早産などで肺が未熟な状態で出生すると**RDS**呼吸窮迫症候群のリスク!

# 妊娠に伴う母体の変化

症状が強くなると...  
**妊娠悪阻**!  
体重減少、脱水...

## つわり症状!

個人差あり...  
妊娠**5-6w**頃!  
悪心・嘔吐  
唾液分泌物の亢進!  
尿中のhCGで判定できる!

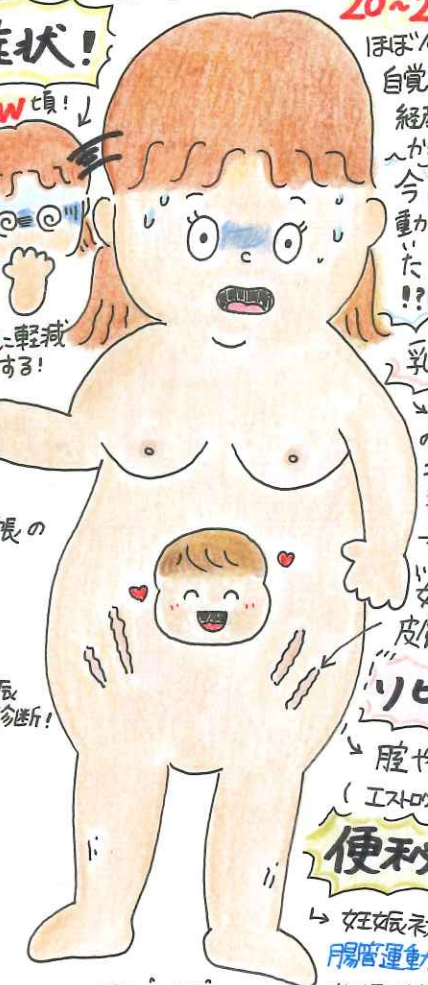
妊娠**12-16w**に軽減する!

妊娠が分かる!  
病院で医師の診察を受け、**妊娠届出書**を提出、母子帳の交付を受けよう!  
胎児の確認!(GS)  
**5w**頃!  
→ 胎動的な妊娠の診断!

器官形成期は!  
**3-8w**頃!  
→ 催奇形因子により先天異常を引き起こすリスク!

胎児心拍の確認は  
**6w**頃で、胎児心音の聴取は**9-12w**頃!

“朝や空腹時に” “**胎力**”は強くなる!



プロゲステロンの作用で  
基礎体温は**高温期**が続く!  
(BBT) → 妊娠6w頃には下降する!

## 帯下の増加

→ 妊娠初期から**帯下**(おりもの)が増加する!(エストロゲンなどホルモンの影響!)

## 白血球の増加

“分娩時の出血に備えるために!”

## 凝固系の亢進!

線溶系は活性化する!

## 循環血液量の増加

→ **血漿量**が妊娠**32w**頃で最大!  
しかし、赤血球の増加よりも血漿量の方がおおくのため、**HbAとHbC**の割合が少なくなる!

プロゲステロンの作用による**血管平滑筋**が弛緩して**血管が拡張**する!

## 拡張期 血圧が下がる!

## インスリン抵抗性による血糖値の上昇

→ 胎盤から産生される**hPL**・**ヒト胎盤性ラクタゲン**は胎児にブドウ糖を供給するために**インスリン抵抗性**を引き起こす!

## 膀胱の圧迫

→ 妊娠初期は**子宮の増大**! 妊娠後期は**児頭による膀胱の圧迫**!  
→ **頻尿**による!

## 下肢の静脈瘤

→ **プロゲステロン**による**静脈血管壁の緊張低下** 子宮増大による**下肢静脈血の還流障害**による生ずる!  
→ 静脈還流を促進させるために**弾性ストッキング**の着用!  
**下肢の挙上**

## 皮膚の瘙痒感

→ 妊娠中期~後期に**腹部の皮膚の伸展**とともに**乾燥**が生じて**瘙痒感**が強くなる!

## 便秘

→ 妊娠初期より**プロゲステロン**が**腸管運動を抑制**!  
妊娠後期では**子宮の増大**による!

## 痔

便秘や子宮の増大による**静脈圧迫・骨盤のう血**が生じて起りやすい!

## ソビ着色

→ 腔や腔壁の色調変化!  
(エストロゲンの増加や血管の拡張による)

乳房の発育!  
→ エストロゲンとプロゲステロンの作用! 乳輪と乳頭を拡大させ、色素沈着を促す!  
**モントゴメリー腺** → 乳輪にある腺組織のこと!  
妊娠線は**急激な皮膚の伸展**による!

20~23wには  
ほぼ100%の妊婦が自覚する!  
経産婦では18~20w頃頃から自覚する!  
今重かった!?

“朝や空腹時に” “**胎力**”は強くなる!

# 消化器系

歯の喪失!  
唾液分泌物の減少↓  
咀嚼・嚥下機能の低下↓  
食道・腸蠕動運動・消化液分泌の低下↓  
胃もたれや消化不良の原因に!  
慢性便秘

# 逆流性食道炎

下部食道が起る! 括約筋(LES)の機能低下!  
腹筋の弛緩や長期臥床  
直腸内圧の閾値↑

高齢者の水分量は50~55%

# 加齢による身体的機能の変化!

# 感覚器系

唾液分泌 + 味蕾細胞の減少↓  
味覚の低下

視覚  
老人性黄斑  
→ 高音域の聴力低下  
子音が聞き取りにくく、音の明瞭度の閾値が低下

# 水晶体の混濁 - 白内障

毛様体筋の萎縮による老視!  
視野狭窄や色覚の低下  
日暗順応の延長

# 循環器系

心筋の弾力性低下  
左室肥大  
運動による心拍出量の低下

血管内腔の狭窄  
血管弾力性の低下  
血管抵抗の上昇  
動脈硬化(粥状硬化!)  
収縮期 血圧上昇

# 呼吸器系

残気量の上昇  
1秒率肺活量 肺拡散能 - 交換↓  
胸壁の硬化  
肺コプライアンス  
咳嗽反射  
気道アライアンス

社会的役割の喪失(近親者との互利など)が抑うつ状態になりやすい!  
うつ病の症状  
だるさ・不眠・肩こり  
頭痛・しびれ  
不安や焦燥感  
非定型的な言動が多い

# 内分泌・代謝系

空腹時血糖 & の上昇!  
基礎代謝の低下!  
成長ホルモン↓  
メラトニン↓  
睡眠障害の原因に!

筋肉量  
骨量の減少  
平衡性の低下  
転倒  
骨折

フレイル-虚弱  
→ 加齢に伴い、体力や能力が低下して健康障害に対する脆弱性が増加し=フレイルの診断基準!  
体重減少・筋力低下・疲労感・歩行速度・身体活動力などがある!

# 生殖機能

男性の場合 → テストステロン減少!  
女性の場合 → エストロゲン ↓  
閉経後、エストロゲンの減少により、骨吸収の促進、骨量の減少により、骨粗鬆症になりやすい!  
骨盤底筋群の筋力低下により子宮脱が起りやすい!

骨粗鬆症  
→ 大腿骨頸部骨折が15%多い!  
歩行機能の低下 ↓↓↓  
老人性歩行  
→ 前傾姿勢・上肢の振り幅が小さい・歩行・歩幅の縮小!

# 腎・泌尿器系

腎血流量 ↓  
糸球体数 ↓  
尿の濃縮機能 ↓  
エリスロポエチン産生 ↓  
膀胱収縮力 ↓

過活動膀胱により  
切迫性尿失禁が起る  
前立腺肥大により  
慢性尿失禁が起る  
尿道括約筋の弛緩により  
頻尿になりやすい!

# サルコペニア-筋肉減少症

→ 加齢に伴い筋量・筋力が低下して身体機能が低下している状態! → 転倒・骨折・フレイルの原因!

